

誰もが自分らしく暮らせる
まちづくり

市長

一人一人の個性や多様な生き方を尊重し、誰もが暮らしやすい社会の実現に取り組んでいます。性別に拘わらず、大切な人をパートナーとして宣誓したことを市が認めるパートナーシップ制度と、家族として宣誓したことを認めるファミリーシップ制度を創設しました。創設後、導入を検討している他の市から問い合わせがきていると聞いています。苦しめられている方を支援する動きがさらに広がればと思っています。

議長

弱者を支えるのが行政の役割です。引き続き、期待しています。

市長

社会的に弱い立場にある人はまだまだ多いです。地に足を付け、課題を地道に解決していきたいです。各部署と関係団体がチームと

なって連携し、協力体制を構築しています。声を上げにくい弱者も含め、しっかりと支援してまいります。

住みやすく、災害に強い
まちづくり

市長

水害対応のインフラ整備はかなり進みましたが、引き続き、市でできることを探していきます。災害対応に、市内に多いアウトドアメーカーの協力をいただくことも考えています。来年は、7・13水害から20年が経つ節目の年です。民間の方も含めた市全体の災害の対応力を上げて、ますます災害に強いまちにしていきます。

議長

来年度、済生会新潟県中央基幹病院が開院する予定ですが、第二産業道路では毎日交通渋滞が発生しています。国道403号三条北バイパスが県道塚野目代官島線まで

今年の抱負

市長

いつまで感染症対策やワクチン接種を必要とする生活が続くかわかりませんが、求められる対応は、経済対策も含め、今後を着実に対応してまいります。感染症禍でも、どのようにしたら日々の暮らしを楽しめるかが分かってきました。引き続き、感染症対策を行いつつ、それに凝り固まることなく、前向きに進んでいきます。

議長

何よりも、早く感染症禍が終息してほしいものです。また、ロシアによるウクライナ侵攻の行方も気になります。日本経済に大きな影響を与え、国民の不安を招いています。経済を活性化させ、安全安心に暮らせるまちにしたいと思っています。今年もよろしくお願ひします。

市長

第二産業道路の渋滞は済生会新潟県中央基幹病院への救急搬送の遅れにつながります。県と連携し、確実に対応してまいります。

